



セアカゴケグモにご注意！！

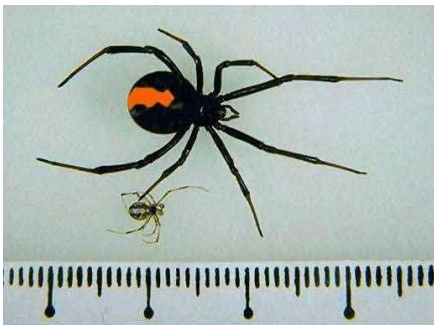


原産地はオーストラリアで、もともと日本にはいませんでしたが、平成7年に大阪府内で初めて確認されて以後、日本各地で生息が報告されるようになりました。

最近では、市内においても毎年、確認されていることから、すでに市内に定着していると考えられます。見かけた場合は、絶対に巣手で触らないようにしましょう。駆除する場合は、殺虫剤を噴霧するか、靴で踏みつぶして下さい。

【セアカゴケグモってどんなクモ？】

- メスが毒を持っています。
- 攻撃性はありませんが、触るとかまれることがあります。



◎メス（左写真上）

- ・ 体長7～10mm（足を除く）。
- ・ 光沢のある黒色で、背中中央に赤色の縦すじ模様があり、腹面には砂時計型の赤い模様が見られます。

◎オス（左写真下）

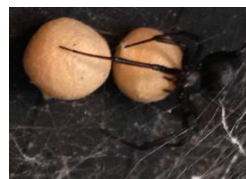
- ・ 体長4～5mm（足を除く）。
- ・ 体の色は茶褐色で、毒は持っていません。

◎巣

- ・ 一般的な放射線状ではなく不規則で複雑な網状をしています。
- ・ 地面近くで落ち葉などがからまっている状態がよく見られます。

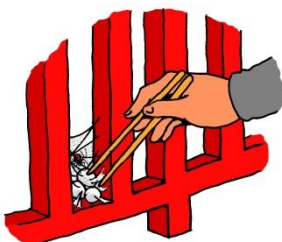
◎卵のう（右写真）

- ・ 直径10～15mmの乳白色の球形。
- ・ 中に10～200個の卵があります。



【見つけたときは？】

- ◎ あわてない（子どもは大人の人を呼びましょう）
- ◎ さわらない（素手など直接触るのはやめましょう）（例）軍手、棒や割りばしの使用。
- ◎ 駆除する（例）卵のうは巣ごとからめ取る。市販の殺虫剤の使用。靴で踏みつぶす。



【身近な生息場所】

屋外の暖かい場所で、物陰になるすき間やくぼみを好みます。

◎例えば・・・



排水口の側面
グレーチングの裏
墓石の周辺など



花壇まわりのブロックの
くぼみ、プランターと壁
とのすき間など



自動販売機やエアコン
室外機の裏、人工的な
熱源の周囲など



ベンチの下



階段のすみ



外に置いてある靴や
サンダルの中

【かまれた場合の症状】

- ・ほとんどが軽症ですみませんが、まれに重症化することがあります。
- ・針で刺したような痛みを感じ、かまれた部分のまわりが腫れて赤くなり、痛みがしだいに全身に広がります。
- ・多量の汗をかいたり、さむけ、はき気などの症状のほか、脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状があらわれることがあります。

【かまれたら】

- ・ かまれた場所をすぐに水や温水で洗いましょう。
- ・ できるだけ早く医療機関を受診してください。かまれたクモを殺して持参されますと適切な治療につながります。



【予防方法】

- ・ 生息しそうな場所に注意し、クモが巣を作らないようこまめに掃除しましょう。
- ・ 清掃、花壇の手入れなど屋外での作業のときは軍手などを着用しましょう。